



らいおんぐみだより

令和7年11月15日 大嶺彩未

朝夕の風が少しひんやりと感じられるようになり、園庭の木々も少しずつ秋の色をまといはじめました。戸外遊びにも心地よい時期となり、子どもたちの笑い声が園庭に元気に響いています。

最近では発表会に向けて、合唱や手話ソング、オペレッタなどに挑戦しながら、お友達と表現する楽しさを味わっています。

寒暖差が大きい時期でもありますので、体調の変化に気を付けながら過ごしていきたいと思います。



はっぴょうかい において

オペレッタの演目を2つのおはなしから子どもたちと一緒に選びました。「金のガチョウ」の絵本を初めて読んだときから、らいおん組の子どもたちの心にヒット。いざどの話にするか決める時も圧倒的に「金のガチョウ」派が多かったです。みんなで向き合い“くつつくのが楽しいから”“お姫様がかわいかったから”と理由も話し合いながら決めました。

オペレッタ『金のガチョウ』ってどんなおはなし？

主人公の男の子（ハンス）は、森で出会った小人を助けたお礼に、木を切るよう言われると“金のガチョウ”ができました。金のガチョウに触れると、なぜかくっついて離れなくなる不思議な出来事が！村の人たちが次々とくっついていく姿はとてもユーモラス。やがてハンスはそのガチョウを連れてお城へ行き、笑うことができなかったお姫様を笑顔にし、幸せをつかむというおはなしです。



他にも、合唱曲「ホ！ホ！ホ！」手話ソング「きみにあえてうれしい」も子どもたちと候補曲何曲かの中から決めました。歌詞カードを見たり、お友だちと一緒によく口ずさんでいる姿が素敵です(^^)

遊戯は、9月にあったチアダンス教室への参加から子どもたちから「チアダンスやりたい」の声から1曲、もう1曲は沖縄の曲をチョイスし、年中さんらしいかっこいい姿も見せたいと思います。

オペレッタの踊り♪



やってみよう！

し・り・と・り

4歳～5歳ごろになると、言葉の理解や記憶の力がぐーんと伸び、言葉を使って遊ぶことが楽しくなります。しりとりを通して、言葉の“音”を意識したり、言葉の最初と最後の音に意識を向けて言葉探しをしたり、これは将来の「文字や読み書き」の基礎にもつながります。また、相手の言葉をよく聞いたり、自分の番をまったりする中で、やりとりの力や社会性も伸びていきます。園でも最近ちょっとした時間で取り入れて楽しんでいますよ。ぜひご家庭でもやってみてください！

レッツ!

チョコバナナづくり



おまつりに行き「チョコバナナ食べたよ～」と教えてくれた子の一言がきっかけになって始まりました！



新都心の「リボン」というお店までお買い物。チョコバナナの絵が描かれているチョコを子どもたちが選びました！



バナナに刺す棒は何かいいか実験中



バナナを切って

チョコをつけてトッピング♪
全集中



完成！



チョコを湯せん



夏の「アイスクリーム作り」の時は「自分も買い物行きたかった」と羨ましがってた姿もありましたが、「チョコバナナ」について調べている子たちを見て「僕はピザが作りたいから調べてみる」「パフェ作りたいから絵を描いてみる」など次の活動にも意欲的です!(^^)!
今度は何づくりプロジェクトが発足するのか楽しみです。

カルタゲーム

最近、カルタをやることに夢中になっています。文字に興味・関心がでてきたり、お友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しんでいます。子どもたちのとるスピードとても早いですよ！



おいしい〜❤️



普天満神宮へ七五三参拝



子どもたちが元気に成長したことに感謝し、これからも健康でいられるようみんなで祈願してきました。千歳飴もいただきました！